

カブールのこどもたち

2002年10月から2004年3月まで、足かけ1年5ヶ月アフガニスタン政府のアドバイザー(JICA 専門家)としてカブールに赴任していました。その時撮り貯めたものの中から、カブールのこどもたちの写真を選んで並べてみました(次ページ以降)。これらの写真は大学での授業で学生たちによく見せていますが、最近気付いたことがあります。デジタル写真は何年経ってもセピア色にならず、いつまでもその時の空気さえも鮮明に焼き付けてしまうようで、それで思いつかなかったのでしょうか。それは、911、タリバン放逐、それに続いてアフガニスタンに対する国際支援が始まって早10年が経った、ということです。そして、今、写真のカブールのこどもたちが達者であれば、年の頃では二十歳前後、これから社会に出て行こうとしている私の教え子の日本の大学生と同一年ということになります。「カブールの彼らは、君たちだ!」と写真を見せながら言うと、それまでざわついていた学生たちは急に神妙な面持ちになります。彼らと自分達を隔てている(あるいは結び付けている)不思議な何かについて、考えさせられるのでしょうか。

いつの日かカブールに戻るものがあつたら、大きくなった写真のこどもたちに是非会ってみたいものです。

カブール：標高 1800 メートル



カブール：夏



カブール：冬

カブールの子どもたち（2002年10月～2004年3月）



このごろ新生児室は大忙し



援助でできた公園で



村の男の子たち



クラスの仲よし



紛争終結後、初のラマザンでおめかし



いいお母さんになりそうなお姉ちゃんたち

カブールの子どもたち (2002年10月～2004年3月)



1,2,3・・・7人兄弟



はたらく女の子



お母さんは奥で家事



どこまでもついてきた好奇心旺盛な少女



女子クラス「起立！」



はにかみ屋さん